

# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	<b>13</b>
合計	<b>100</b>

## 記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 関屋おもと
(ユニット名)	うめ
所在地 (県・市町村名)	新潟県新潟市中央区関屋大川前1丁目2番36号
記入者名 (管理者)	榎田 真美
記入日	平成 20年 11月 14日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個別ケアを徹底し、「家」＝「暮らし」の実現をテーマに「明るく、楽しく、和やか」なサービス提供を行います。地域への広報、積極的な外出を通じ、地域に根差したサービス提供に努めます。		初年度という事で、広報活動や地域行事等へ積極的に参加したが、ボランティアなどホームへの受け入れ体制も強化して行きたいです。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のカンファレンス実施時、理念の取り組みへの確認、話し合いの場を持っています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	1回/2ヶ月の運営推進会議開催時、家族や地域代表者に参加して頂き、理念に添った活動が出来ているかご意見、ご要望を伺っています。		地域の民生委員の会議などにも積極的に参加し、ホームの意義等を伝えて行きたいです。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺の散歩に出掛け、笑顔であいさつを交わしています。隣接する施設1階喫茶店を定期的にご利用させていただき、なじみの関係となってきています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の運動会、神社の祭り、公民館の音楽会など、地域の行事や催し物への参加を積極的に行っています。		地域の方からも参加して頂けるような行事や催し物を計画し、地元の方々との交流が図れるよう努めていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者からの相談があった場合には、お役に立てるよう支援してまいります。</p>		<p>全職員が、研修などを通じ、種々の相談に対応出来るよう知識の習得に努めてまいります。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>開設1年目の初めての評価ですので、意義を理解し、活用出来るよう取り組みたいです。</p>		<p>自己評価により現在までの活動内容の見直しや理念の再確認につなげたいです。また、外部評価により自分たちが気付かなかった点の改善に努めたいです。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>1回/2ヶ月運営推進会議を開催し、参加して頂いた方からの意見を現場へ反映出来るよう努力しています。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>質問や相談事があった場合は市の担当者に連絡を取り、助言を頂いています。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、制度を利用されてる方はいませんが、必要に応じ迅速に対応出来るよう、制度の理解に努めてまいります。</p>		<p>研修への参加や、勉強会の実施を行い、職員全員が制度の理解に努めてまいります。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>家族、職員と話し合いの場を多く持ち、虐待の防止と未然に防げる環境作りに努めています。</p>		<p>研修への参加や、勉強会の実施を行い、職員全員が制度の理解に努めてまいります。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の事前訪問やホームの見学の際に説明をし、利用者、家族の不安解消に努めています。解約時は対処後の生活の安全を確認しています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>市の介護相談員が1回/1ヶ月訪問し、利用者の皆さんとお話し、意見を聞く機会を持っています。また、居室担当職員も個別に話を聞く時間を持つようにしています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1回/3ヶ月おたよりの発行をしています。会計報告、日常の様子を写真と共に紹介し報告しています。また、体調不良や精神面の変化等あった場合は、その都度、電話にて報告しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム入り口前に意見箱の設置をしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の申し送りの機会に意見交換をしています。また、1回/1ヶ月カンファレンス開催時、利用者一人一人について考える時間や業務見直しの時間を持っています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者が勤務表の作成を行っています。事前に解っている状況の他は、職員間の協力のもと、対応しています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者への負担、不安解消出来るよう、他の職員でフォローアップ心掛けています。また、新しい職員も早く慣れて頂けるよう先輩職員と一緒に関わりを持つようにしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人のスキルアップが図れるよう資格取得の機会を大切にしています。園内研修にて介護技術や認知症についての勉強会を予定しています。		今後も園内研修の他、外部の研修への参加を積極的に行ってまいります。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、実施はありませんが、今後交流の機会を持ちたいです。		他のグループホームとの交流の機会を持ちたいです。互いの情報交換や意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組みたいです。次年度は、運営推進会議にも同席して頂けるよう取組たいです。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の話聞く機会を設け、悩みやストレス解消出来るよう努めたいです。また、業務時間以外に食事会を開き親睦を図っています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	目標や課題を持って働くようにしています。行事等、反省を次に生かせるよう取り組む努力をしています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接に伺い、ホームの説明やご本人のホームでの生活に対する不安の解消や希望に添えるよう努力しています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所申込書に基き、お話をさせていただきます。家族の立場での希望や問題に思っている事等、私達がどう対応出来るか話し合うようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族のニーズに答えられるよう、さまざまなサービスの利用の検討も視野に入れて考えるようにしています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用前にホームの見学をして頂いています。また、暮らしの場として、居場所作りを心掛け、慣れて頂けるよう支援します。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常的にはお料理や昔懐かしい歌など教えて頂いています。また、季節事の行事等教えて頂く事多いです。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	外出を伴う行事や、ホーム内での催し物がある時は、家族にも参加を呼びかけています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者本人に変化があった時には随時家族に連絡を取り、状況の把握して頂けるようにしています。また、園内、外の行事を一緒に過ごす機会を設けたいです。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行き付けの美容室や、近所の方との関わりなど継続出来るよう、家族と協力して支援しています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の性格の把握に努めています。相性を考慮したり、職員が仲介に入るようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された利用者のもとに、皆さんで面会に行き交流を図っています。		利用者本人、家族から相談等あった場合には、出来る限り対応したいです。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人生活する上での習慣は大切にしたいです。希望に添った関わりが出来るよう努力しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面接の際、生活歴や趣味、仕事等、お話を聞かせて頂きます。馴染みの家具、茶碗など、積極的に受け入れるべく家族にも理解を求めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活記録の記入をし、一人一人の生活状況の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人、家族からの希望に添えるような介護計画作りを心掛けています。ケースによっては、併設施設の看護職員や管理栄養士などからもアドバイスをもらっています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1回/3ヶ月介護サービス計画の見直しをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録の記入の他、介護計画に対する実施内容等記録しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1回/1週間の訪問歯科や、1回/1ヶ月の床屋のサービスを必要に応じ利用しています。併設施設職員とも意見交換し、様々な角度からケース検討を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	併設施設と共に、ボランティアの受け入れや、民生委員を中心に茶話会の実施をしています。また、隣接する授産施設とも交流を持っています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅支援のケアマネジャーにオムツ券の給付申請の手続きをお願いしています。		必要に応じ、サービスの利用が出来るよう、居宅支援のケアマネやサービス事業者と協力して行きたいです。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	1回/2ヶ月運営推進会議開催時、地域の包括支援センターとも情報交換や相談等行っています。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1回/1ヶ月協力病院に定期受診しています。先生に診てもらい、お話する事を楽しみにしており、先生も親しみを持って接してくれます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族の希望を聞いたうえで、協力病院に相談、紹介を頂き、受診の支援をしています。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力病院の看護師に直接または電話にて相談しています。併設施設の看護職員にも相談、助言を頂いています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に面会に行き、本人に会います。また、看護師やケースワーカーに状態説明をしてもらいます。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、食事や入浴など、ホームでの生活が難しくなった場合は、協力病院や関連施設へ移れるよう支援します。また、延命治療に関する同意書を頂いています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	協力病院への定期受診時先生に相談し、予測指示を頂きます。また、緊急時は併設施設の看護職員に助言を頂きます。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や担当のケアマネージャーと協力し、本人の納得のいくよう説明をします。ADL等、本人情報を文章にて提供します。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	居室にいらっしゃる方には、プライバシーを尊重し過剰な干渉はしないよう努めています。記録の一部においては、利用者の名前をイニシャルにする等、工夫をしています。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	日々の様々な決定、判断は可能な限り利用者本人にして頂いています。また、一人一人の理解度に応じて納得して頂けるよう個別の説明を行っています。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	日課(入浴等)は大まかに曜日で決めていますが、本人の気持ちに任せ決定しています。毎日の余暇活動では、散歩や合唱など皆さんの希望を伺って行っています。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	衣服のコーディネートは、個人個人の好みで自由に着て頂いています。美容面においては、行事や外出の際、お化粧品して頂いています。ご家族等の協力で、行きつけの美容室にて散髪して頂く方もいらっしゃいます。	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	献立を決めるうえで、利用者に食べたい物をリクエストして頂いています。料理が好きな方には、一緒に手伝って頂いたり、配膳や片付けにも参加して頂いています。	季節感を生かした献立や行事に応じた調理を一緒に行いたいです。
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	健康面に問題のない範囲で、食後酒を飲んで頂いたり、飲み物やおやつも、季節にあったものを毎月楽しんで頂いています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	羞恥心に配慮しながらも、ほぼ3時間おきに声掛けてトイレ誘導を行っています。また、チェック表にて個々の排泄パターンを職員が共有出来るようにしています。		その方にあったペースで声掛けを行い、清潔保持に努めています。皮膚疾患が生じないよう気をつけていきたいです。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	大まかな曜日、時間帯はありますが、あくまで本人の意思を尊重し、時間や入浴日の変更を行っています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活の流れを大切にしています。業務の都合で余暇時間を決めないようにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室担当を中心に、特技や趣味に応じたレクリエーションや余暇活動を生活の中に組み込んでいます。		希望により、娯楽、文化施設などへも出掛け、社会との接点を感じられるよう支援していきたいです。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を所有している方、ホーム事務所にてお預かりしている方、様々です。希望に応じ、買い物時使えるよう支援しています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の付き添いで、近所の遊歩道やスーパー、花屋さん等に出掛けています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族や職員が同行し、外食や買い物へ外出して頂いています。また、ホームの行事として1~2回/1ヶ月全員で外食、ドライブへ出掛ける機会を設けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時、家族に電話をとりついでいます。手紙も支援しながら書いています。		本人と家族をつなぐ働き掛けを大切にして行きたいです。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ゆっくりと過ごして頂けるような空間作りを心掛けています。ホールには、花やレク活動の飾り付け、行事の写真を飾り、一緒にお茶を飲んだり、他利用者の方々と触れ合えるように、明るく居心地の良く過ごせるよう工夫しています。また、必要に応じ、施設の相談室もご利用頂けます。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを理解し、実践しています。1対1で関わられるよう時間を作っています。常に見守りが出来るよう職員間で協力しています。		利用者一人ひとりの精神状態を理解し気持ちに沿った関わりをしたいです。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが5階に位置する為、危険防止の施錠は設置しています。台所等、共同スペースは自由に入出入り出来るようにしています。		利用者の外出希望に添えるようコミュニケーションを図っています。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1日を通して、共同スペースであるリビングホールや台所にて職員が見守り、安全に配慮しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬はスタッフルーム鍵付きスチール棚にて保管しています。刃物等は、台所所定の引き出しにて管理しています。また、使用する際は、怪我のないよう見守りをしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1回/1ヶ月カンファレンス開催時事故防止について話あっています。手すり、滑り止めマットの使用、床の汚れ(濡れていないか等)への注意などしています。食事の形態も、個々に(固さや大きさ)食べやすさに配慮しています。薬の取り扱いは、1人まかせにせず、何重にも確認しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	安全管理マニュアルに従い行動出来るよう、AEDの使用法、また、その他の急変時に対応出来るように備えています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併施設設と合同で、避難訓練の実施予定です。また、ホームだけで定期的の実施予定しています。		個々の状態をふまえ、確実な非難誘導が出来るように備えていきたいです。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	身体的、精神的に状態変化があった場合は、家族に報告し、病院受診の検討や対応について話合います。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1回/1日バイタル測定、食事量、排便チェックの実施をしています。また、関わりを多く持ち些細な変化にも気配りしています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病気の把握、薬の内容の把握に努めています。また、服薬時、名前、日付、時間の確認をしています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の便秘の原因を探り、食生活の工夫、水分量を意識し、体操や散歩など適度な運動を心掛けています。必要に応じ、看護職員や管理栄養士にもアドバイスを受けています。		自然排便を促す工夫を日常の生活の中で支援していきたいです。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの実施をしています。就寝前に義歯消毒をしています。		口腔ケアの重要性を理解し、支援していきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人や家族より、食事の好みや摂取量の情報を参考にし、栄養バランスを考えながら調理しています。食事、水分量はチェック表にてチェックしています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルに添って実行しています。日常的には、手洗い、うがいの徹底、消毒の実施を行っています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮で安全な食材を選び提供しています。定時、塩素系漂白剤にて消毒、熱消毒を実施しています。		衛生管理の徹底、新鮮な食材の提供を行います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るく清潔感のある玄関周りを心掛けています。		季節の飾り付けなど、親しみのある玄関周りを工夫していきたいです。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	洗面所にお花を飾ったり、新聞、雑誌等を用意して居心地良く過ごして頂けるよう工夫をしています。飾り付け等、一緒に手作りの物や季節の飾り付けをしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを囲んでお話されたり、ソファにてテレビを見たりされています。また、畳の空間にて足を伸ばし、くつろがれたり、思い思いに過ごせるよう工夫しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅より使い慣れた家具や食器等、お持ち頂き使用しています。新しい物への買い替えの時も、本人と一緒に買い物に行き、希望を尊重しています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の声掛け時や、清掃時、訪室時等、換気や空調管理を行っています。過ごしやすい温度調節の管理も状況に応じ行っています。また、カーテンや布に付いた臭いは換気や消臭剤を使い対応しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状態に考慮し、部屋の配置を考えています。廊下やトイレには手すりの設置をしています。お部屋内も、生活しやすい導線の確保や、滑り止めマットの使用をしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自室前に飾りを付けたり、のれんを掛けたりしています。使い慣れた物や見慣れた物を置くことにより、解る力を生かしたいです。		職員が入居者個々の残存機能を的確に見極め、適切な支援のもとに解る力を最大限引き出せるよう努めて行きたいです。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターにて花や野菜の苗を植えて、水やりや観察をしています。育った野菜は、みんなで頂いています。		活用されていない空間も多いのでプランターの数を増やしたり、洗濯物を干せるよう、有効活用して行きたいです。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)